

NetWare Client 32 for Windows 95 1.0J インストール手順書

商標

NOVELL、NetWare、NetWare は、米国 Novell, Inc. の登録商標です。

Envoy、GroupWise、NDS、NetWare Directory Services、NetWare Application Launcher、NetWare Application Manager、NetWare Client は、米国 Novell, Inc. の米国における商標です。

Microsoft、MS、MS-DOS、Win31、Windows、Windows NT、Windows 95 および Windows ロゴは、米国 Microsoft Corporation 米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他、このマニュアルに掲載されている会社名、製品名は、それぞれ各社の商号、商標、または登録商標です。

著作権

Copyright 1996 Novell Japan, Ltd. All rights reserved.

本書の一部または全部を無断で転載、複写、検索システムに保管、送出することは形態を問わず禁じます。

放棄条項

米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は本書の内容または使用に関して、また本書で取り上げる第三者の製品のいずれに関しても、断言や保証を行うものではありません。米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、いつでも本書の内容を改訂し、その内容を変更する権利を留保し、そのような改訂や変更を何人にも、またいかなる企業にも通知の義務を負いません。本書中に明記される第三者の製品、また説明の対象とされる機器構成を推奨するものではありません。

目次

はじめに

第1章 NetWare Client 32 for Windows 95 インストール

1. インストール手順フローチャート
2. インストール手順
3. NetWare/IP クライアントのインストール

第2章 ログインと使用方法

1. ログイン方法
2. NDS ツリーや NetWare サーバの検索
3. ログインスクリプトの設定
4. 複数の NDS ツリーへの同時アクセス
5. ドライブマッピング方法
6. プリンタ設定

第3章 サーバ側のロングネームサポート

1. NetWare 4.1J サーバ
2. NetWare 3.12J サーバ

第4章 NetWare Application Manager と NetWare Application Launcher

1. アプリケーションの登録ならびにユーザへの割り当て (NAM)
2. ユーザ毎にアプリケーションを割り当てる場合の設定 (NAM)
3. アプリケーションの実行 (NAL)

はじめに

本書はノベルが提供する Windows 95 用 NetWare クライアントである NetWare Client 32 for Windows 95 と、これに添付の NetWare Application Manager についてのインストールおよび設定方法を記述したものです。

NetWare Client 32 for Windows 95 を使用することで以下のようなメリットがあります。

1. NetWare 4.1J 環境で NDS (NetWare ディレクトリサービス) が利用可能になります。
2. Windows 95 のロングファイルネームがサーバに対して使用できるようになります。
3. NetWare 対応のクライアントアプリケーションが使用可能です。
4. 32 Bit 対応のため高速なアクセスが可能です。
5. Windows 画面上からログインやログアウト、ログインスクリプトの実行が可能です。

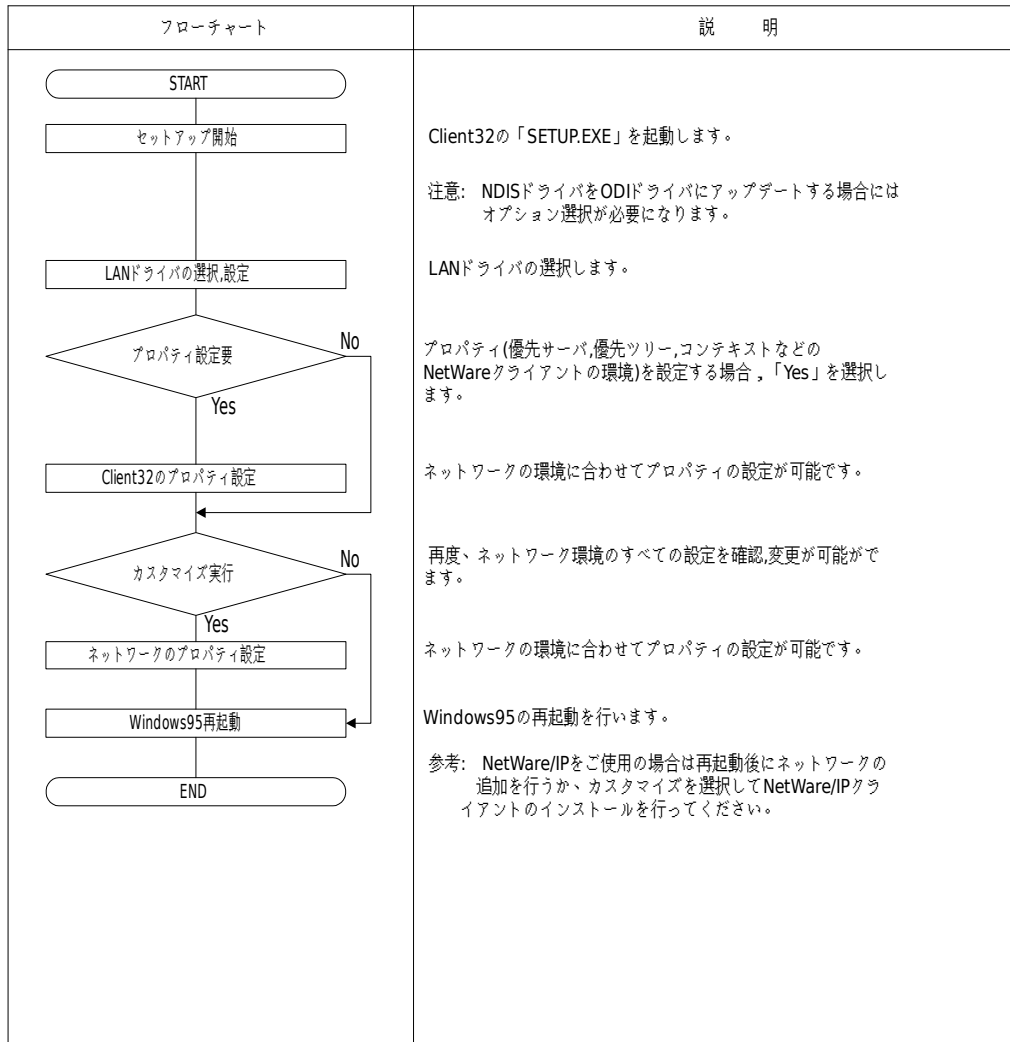
NetWare Application Manager を使用すると、アプリケーションを NDS に登録する事ができ、ユーザがネットワーク上のアプリケーションを容易に起動する事ができるようになります。

注意事項

1. 本書の手順は [IBM PC/AT 互換機] を基に記述してあります。[NEC PC-9800 シリーズ] をご使用の場合は、フロッピーディスク、ハードディスク、CD-ROM のドライブマッピングなどの表記が異なることがありますのでご注意ください。
2. ご使用になる環境によっては、本書の手順書どおりにインストールできない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

第1章 NetWare Client 32 for Windows 95 インストール

1. インストール手順フローチャート



注意: インストールを開始する前に Windows 95 の CD-ROM(または FD)をご用意ください。

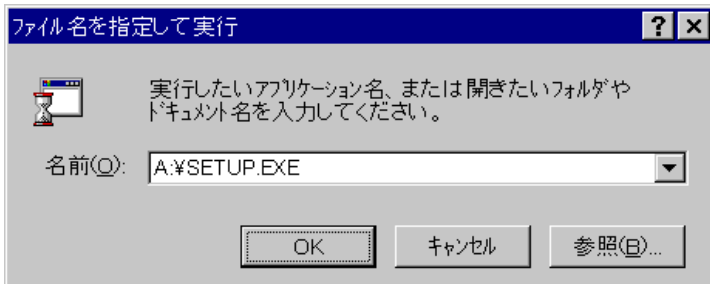
2. インストール手順

Client 32 のインストール環境として以下の方法があります。

- A. ネットワーク設定がされていない Windows 95 上に Client 32 を新規インストール
- B. NetWare VLM クライアントからのアップグレード
- C. Microsoft 社の「NetWare ネットワーククライアント」からのアップグレード

本手順書では「A」のインストール手順を説明します。「B、C」の環境に関しては本手順の「注意」欄をご参考の上、進めてください。

2a. 「スタート」ボタンより「ファイル名を指定して実行(R)...」を選択してください。



次を参照して、適当なパスから「SETUP.EXE」を選択してください。

フロッピーディスクからインストールする場合（「SETUP1」フロッピーディスクをセットしてから）:

【フロッピードライブ】:\SETUP.EXE

クライアントが IBM PC/AT 互換機で CD-ROM からインストールする場合:

【CD-ROMドライブ】:\DOSV\NIHONGO\SETUP.EXE

クライアントが NEC PC-9800 シリーズで CD-ROM からインストールする場合:

【CD-ROMドライブ】:\98\NIHONGO\SETUP.EXE

2b. 使用許諾契約画面の内容を承諾後、インストールメニューが表示されます。

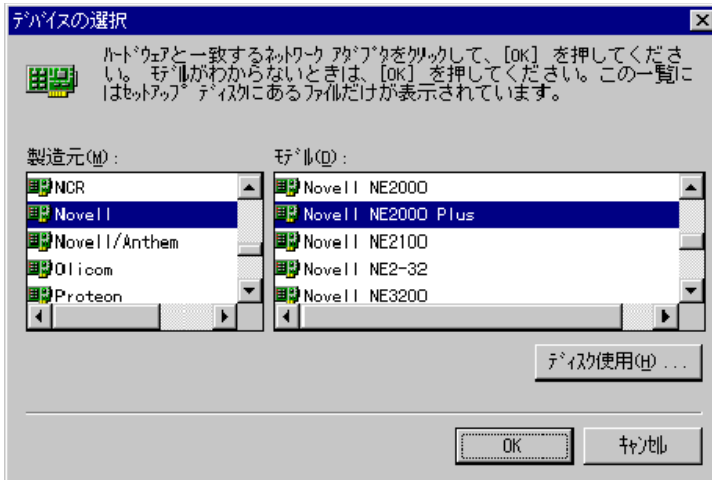


【開始(S)>】をクリックしてください。ファイルコピーが自動的に開始されます。

注意: Microsoft 社の「NetWare ネットワーククライアント」などですでは NDIS ドライバをご使用の場合、ODI ドライバへのアップグレードが可能です。この場合、「NDIS ドライバを ODI に自動アップグレード」の左側のチェックボックスをクリックして、チェックマークをつけてから、【開始(S)>】をクリックしてください。

NDIS(Network Driver Interface Specification)は、Microsoft 社標準の LAN ドライバ仕様です。
ODI(Open DataLink Interface)は、Novell 社標準の LAN ドライバ仕様です。

2c. LAN ドライバ選択画面が表示されます。



使用する LAN ボードを選択してください。ここでは、「Novell NE2000 Plus」ボードを使用する場合の例を説明します。

- a. 「製造元(M):」から【Novell】を選択します。
- b. 「モデル(D):」から【Novell NE2000 Plus】を選択後、【OK】をクリックします。

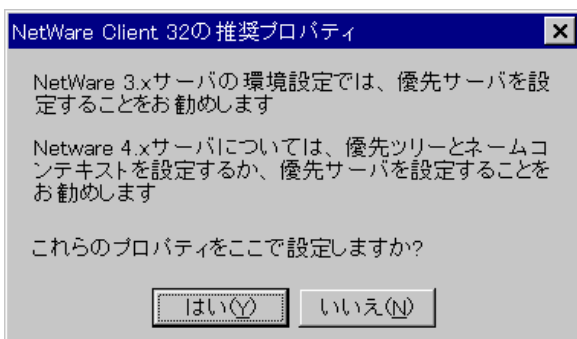
注意： 【OK】をクリック後、ネットワーク上で現インストール中のクライアントを識別するために「コンピュータ名」、「ワークグループ」などを設定する画面が表示される場合があります。表示された場合は、入力してください。

- 2d. LAN ドライバのプロパティが表示されます。



実装している LAN ボードの設定と一致しているかを確認してください。設定が正しければ【OK】をクリックしてください。

- 2e. Client 32 のプロパティ設定を現段階で行うのかを聞いてきます。



【はい(Y)】をクリックしてください。

参考: 【いいえ(N)】を選択してもインストール完了前に、Windows 95を再起動せず「カスタマイズ」を選択することによりプロパティ設定が可能です。

2f. 「Novell NetWare Client 32のプロパティ」が表示されます。

「Client 32」のタブが表示されます。

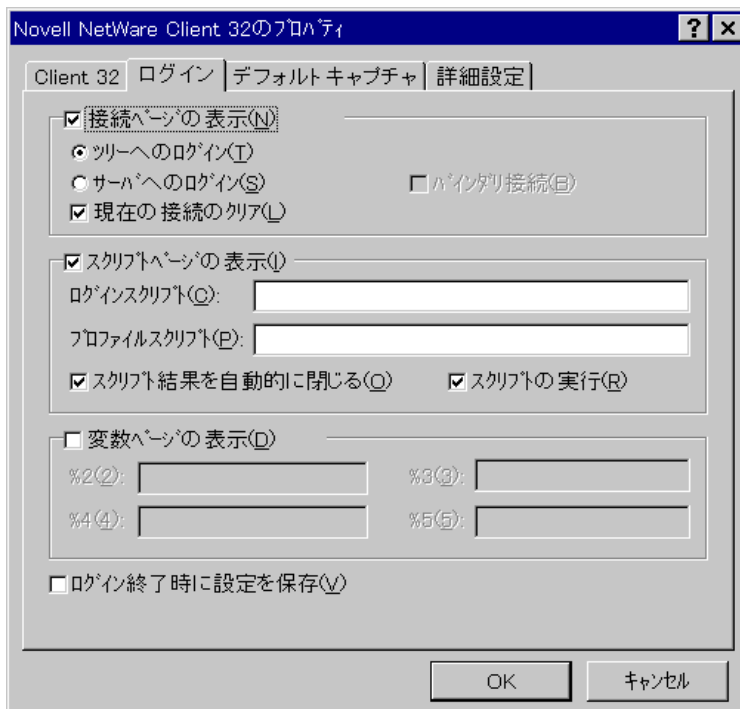


a. バインダリサーバ環境をご使用になる場合は「優先サーバ」を指定してください。また NDS 環境をご使用になる場合は「優先ツリー」、「ネームコンテキスト」を指定してください。

b. 「最初のネットワークドライブ」を指定してください。(デフォルトは F ドライブ)

参考: 「優先サーバ」、「優先ツリー」、「ネームコンテキスト」、「最初のネットワークドライブ」は、VLM クライアントの場合に「NET.CFG」ファイルの「DOS Requester」エントリ内に指定するパラメータ(「優先サーバ:Prefferd Server」、「優先ツリー:Prefferd Tree」、「ネームコンテキスト:Name Context」、「最初のネットワークドライブ:First Network Drive」)に相当します。

c. 【ログイン】タブをクリックしてください。



d. 変更したい項目をクリックして、チェックマークをつけてから、【OK】をクリックしてください。

参考事項

1. デフォルトは全て無効ですが「接続ページの表示(N)」、「スクリプトページの表示(I)」、「変数ページの表示(D)」を有効にすることで各項目のオプションを設定できます。

(1).接続ページの表示(N)	GUIログインの実行時にログイン先を変更できます。
(2).現在の接続のクリア(L)	GUIログインの実行時に既存のネットワークドライブマッピングを解除することができます。(1)を有効後のデフォルトは、[v]です。
(3).スクリプトページの表示(I)	GUIログイン実行時にログインスクリプトを選択することができます。
(4).スクリプト結果を自動的に閉じる(O)	ログインスクリプト実行後、自動的にログインスクリプト画面を閉じることができます。(3)を有効後のデフォルトは、[v]です。
(5).スクリプトの実行	ログインスクリプトをするのかしないのかが選択できます。(3)を有効後のデフォルトは、[v]です。
(6).変数ページの表示	GUIログインの実行時にログインスクリプトの変数を指定することができます。
(7).ログイン終了時に設定を保存	設定を保存することができます。(デフォルトは、[v]です。)

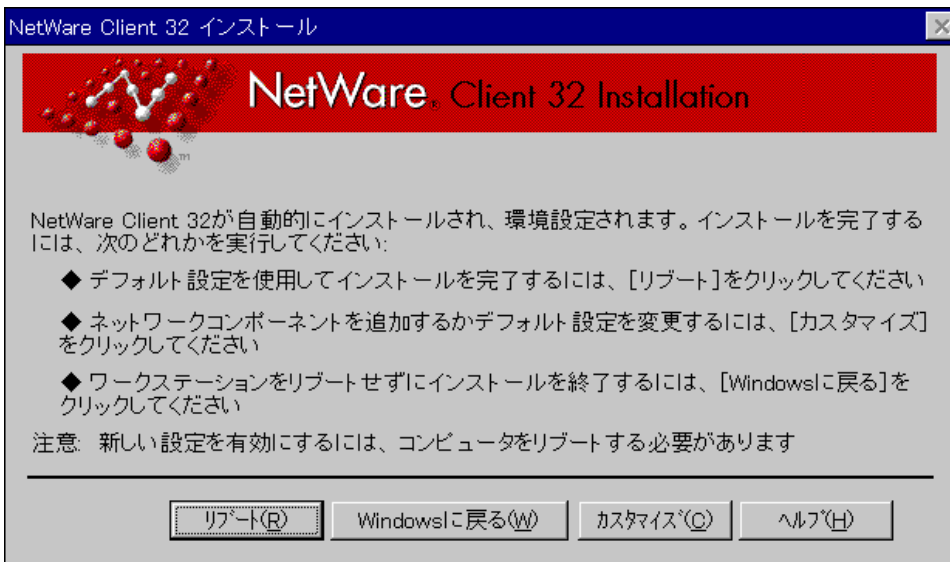
2. ログインスクリプトに関しては「スーパーバイザガイド (NetWare 4.1J)」または「インストールガイド (NetWare 3.12J)」をご参照ください。

2g. ディスクの挿入要求が表示されます。



Windows 95 CD-ROM(またはFD)をドライブに挿入後、【OK】をクリックしてください。

2h. PCの再起動要求の画面が表示されます。





【リポート (R)】をクリックしてください。これでインストールは完了です。

参考: 【カスタマイズ (C)】を選択することによりネットワークプロパティの変更が可能です。変更する必要がない場合は、リポートしてください。参考にカスタマイズを選択した場合に表示されるネットワークプロパティを「2i.」でリストします。また、リポート後にネットワークプロパティを変更する場合は「コントロールパネル」から「ネットワーク」を選択してください。

2i. インストール後のネットワークプロパティ一覧

「現在のネットワーク構成(N):」から設定したい項目をハイライト後、「プロパティ(P)」をクリックしてください。

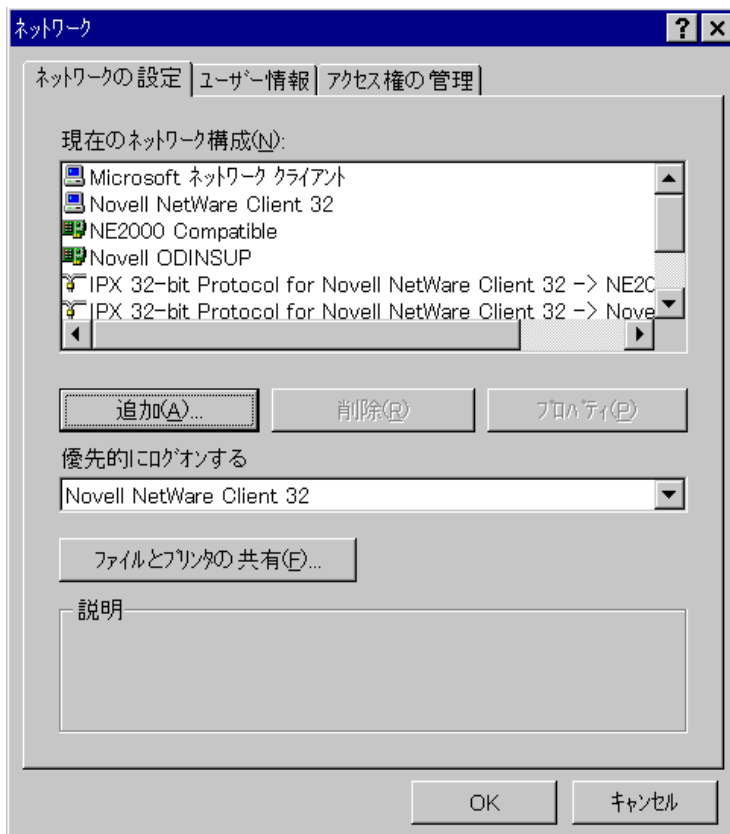
32bit ODI LAN ドライバを選択した例	32bit NDIS LAN ドライバを選択した例
	
<p>ネットワーク構成</p> <p>Novell NetWare Client 32</p> <p>Novell NE2000 Plus</p> <p>Novell ODINSUP</p> <p>IPX 32-bit Protocol for Novell Client32 → Novell NE2000 Plus</p> <p>IPX 32-bit Protocol for Novell Client32 → Novell ODINSUP</p> <p>IPX/SPX互換プロトコル → Novell ODINSUP</p>	<p>ネットワーク構成</p> <p>Novell NetWare Client 32</p> <p>NE2000 Plus</p> <p>IPX 32-bit Protocol for NetWare Client 32</p> <p>IPX/SPX互換プロトコル</p>

3. NetWare/IP クライアントのインストール

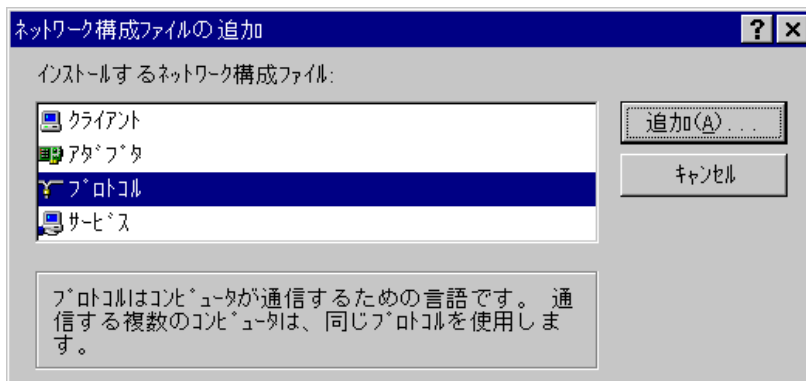
NetWare/IP クライアントをインストールする前に Windows 95 CD-ROM(または FD)と Client 32 CD-ROM(または FD)をご用意ください。

3a. Microsoft TCP/IP の設定

a. 「コントロールパネル」より「ネットワーク」を起動してください。



- b. 「追加(A)...」をクリックしてください。「ネットワーク構成ファイルの追加」メニューが表示されます。



- c. 「プロトコル」をハイライト後、「追加(A)...」をクリックしてください。「ネットワークプロトコルの選択」画面が表示されます。



d. 【Microsoft】をハイライトして【TCP/IP】を選択後、【OK】をクリックしてください。

e. 以下の TCP/IP のプロパティ設定を行ってください。

- IP アドレスの設定
- サブネットマスクの設定
- ゲートウェイの設定
- DNS の設定

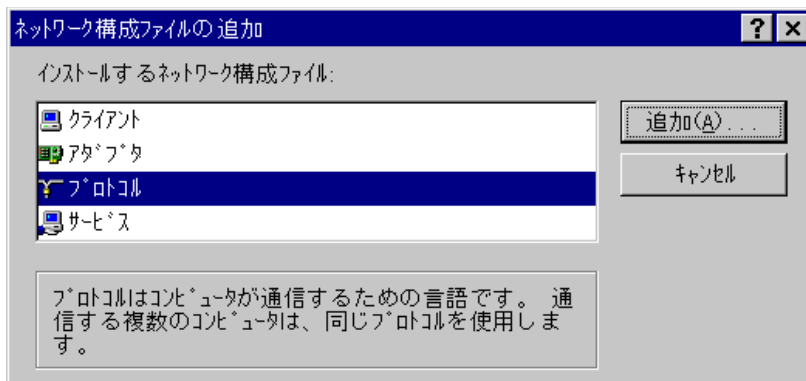
参考: ネットワークに合わせて TCP/IP プロトコルのプロパティ設定を行ってください。ネットワーク上に NetWare/IP サーバ以外に DHCP サーバが構築されている場合は IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイの設定を省略することができます。

3b. Novell NetWare/IP Protocol の設定

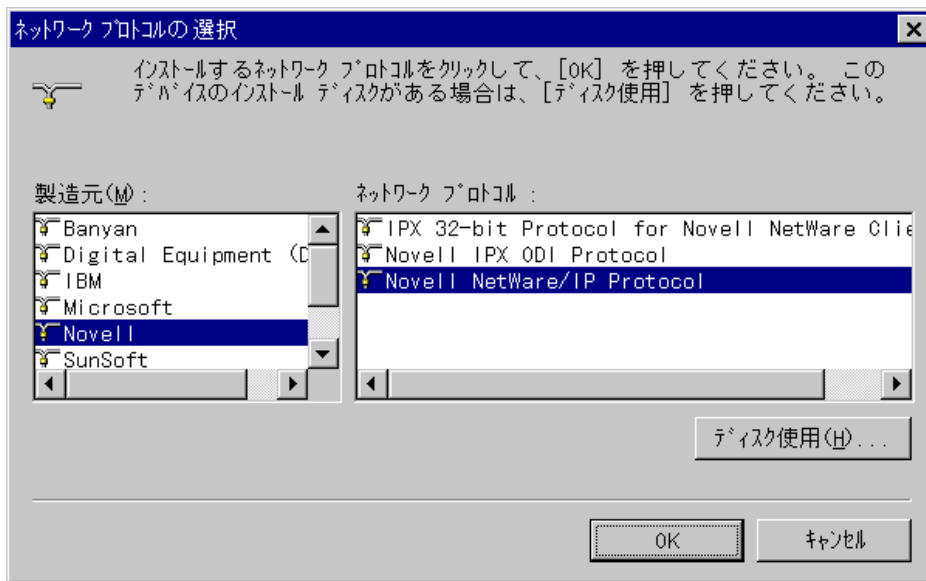
a. 「コントロールパネル」より「ネットワーク」を表示してください。



- b. [追加(A)...]をクリックしてください。「ネットワーク構成ファイルの追加」メニューが表示されません。



- c. [プロトコル]をハイライト後、[追加(A)...]をクリックしてください。「ネットワークプロトコルの選択」画面が表示されます。



d. [Novell]をハイライト後、【Novell NetWare/IP Protocol】を選択してください。

参考: 「現在のネットワーク構成(N)」で「Novell NetWare/IP →TCP/IP」のプロパティが登録され設定可能になり IP の環境設定を行うことができます。

e. 以下の NetWare/IP 環境のプロパティ設定を行ってください。

- NetWare/IP ドメイン名の設定
- 優先 NetWare/IP サーバの設定
- 優先 DSS サーバの設定

注意: NetWare/IP 使用時は、「IPX 32-bit Protocol for Novell NetWare Client 32」のプロパティ画面にある「高度な IPX 設定」でのフレームタイプを指定しないでください。すなわち設定としては「検出されたフレームタイプをすべて使用」が選択されている必要があります。

第 2 章 ログインと使用方法

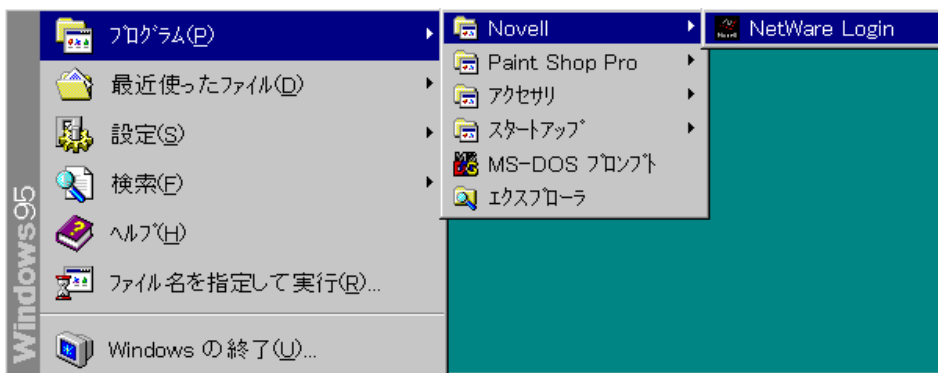
1. ログイン方法

Windows 95 の起動時に GUI ログイン画面が表示されます。



- 1a. 「ログイン名(N):」に「ユーザ名」を入力してください。
- 1b. 「パスワード(P):」に「ユーザパスワード」を入力後、【OK】をクリックしてください。

参考: Windows 95の起動後でもGUIログインは可能です。下の画面を参照の上、「スタート」メニューから起動してください。(Client 32のインストールにより自動的にGUIログインユーティリティは「スタートメニュー」に追加されます。)



2. NDS ツリーや NetWare サーバの検索

GUI ログイン画面の「接続(C)」タブをクリックすると NDS ツリーや NetWare サーバの自動検索が行えます。



「ツリー(T)」や「サーバ(E)」の右側のボタンを押すことにより検索することができます。

注意: この画面は「接続ページの表示(N)」が選択されていないと表示できません。

3. ログインスクリプトの設定

GUI ログイン画面の「スクリプト(S)」をクリックすると実行するログインスクリプトの設定が行えます。

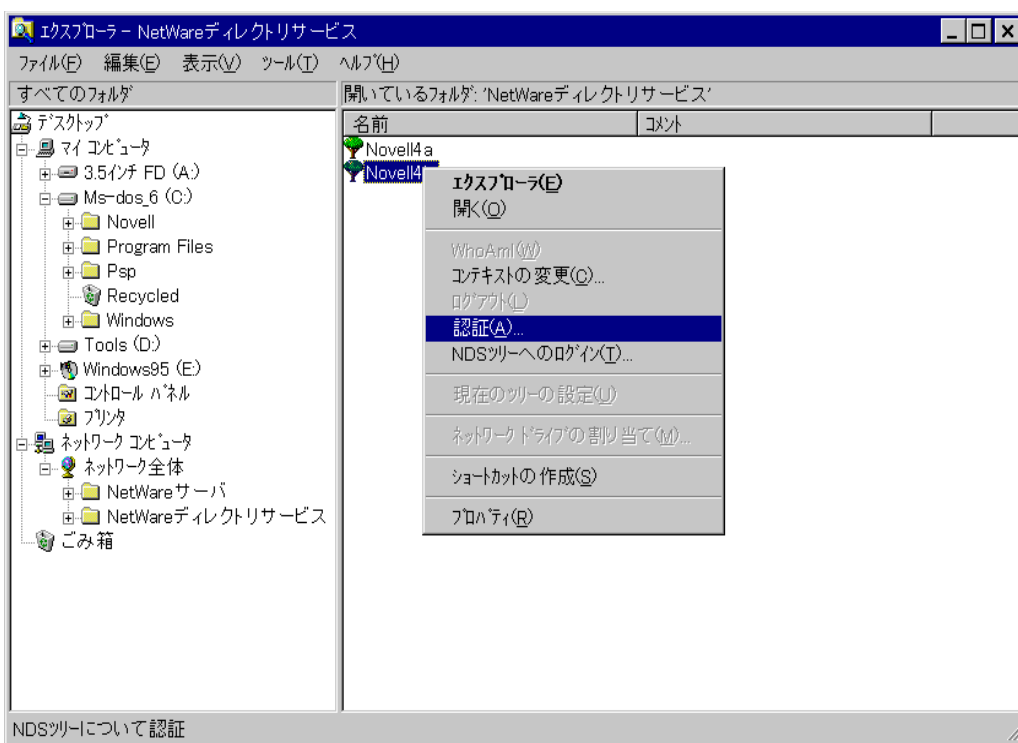


注意: この画面は「スクリプトページの表示(I)」が選択されていないと表示できません。また、ログインスクリプトに関しては「スーパーバイザガイド (NetWare 4.1J)」または「インストールガイド (NetWare 3.12J)」をご参照ください。

4. 複数の NDS ツリーへの同時アクセス

Client 32では、従来のVLMクライアントとは異なり、複数のツリーに同時にログインすることが可能です。どちらのリソースも同時にアクセス可能です。

4a. ログインしたいツリーの指定



- 「エクスプローラ」またはデスクトップの「ネットワークコンピュータ」から「ネットワーク全体」の「NetWare ディレクトリサービス」を選択し NDS ツリーを表示してください。
- ログインしていない NDS ツリーのアイコンをハイライト後、右クリックしてください。
- 【 認証 (A)... 】を選択してください。

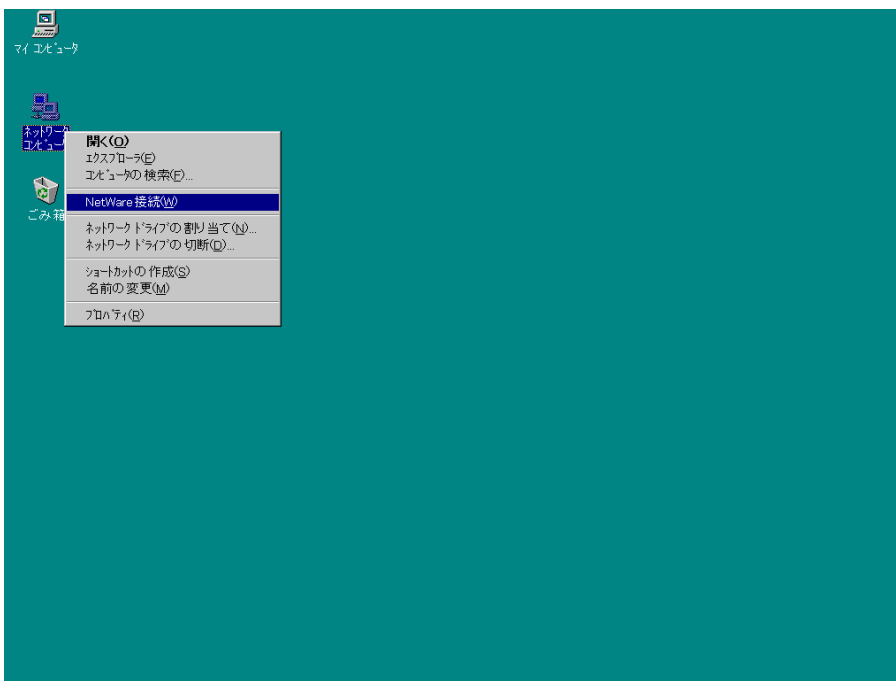
注意： 自動でログインスクリプトを実行するように設定されている場合、【 NDS ツリーへのログイン (L)... 】を選択するとドライブの再マッピングが行われます。既に NDS ツリーにログインしていて、別の NDS ツリーにもログインする場合、アタッチするだけでログインスクリプトが実行されない【 認証 (A)... 】を選択してください。

- GUI ログイン画面が表示されます。



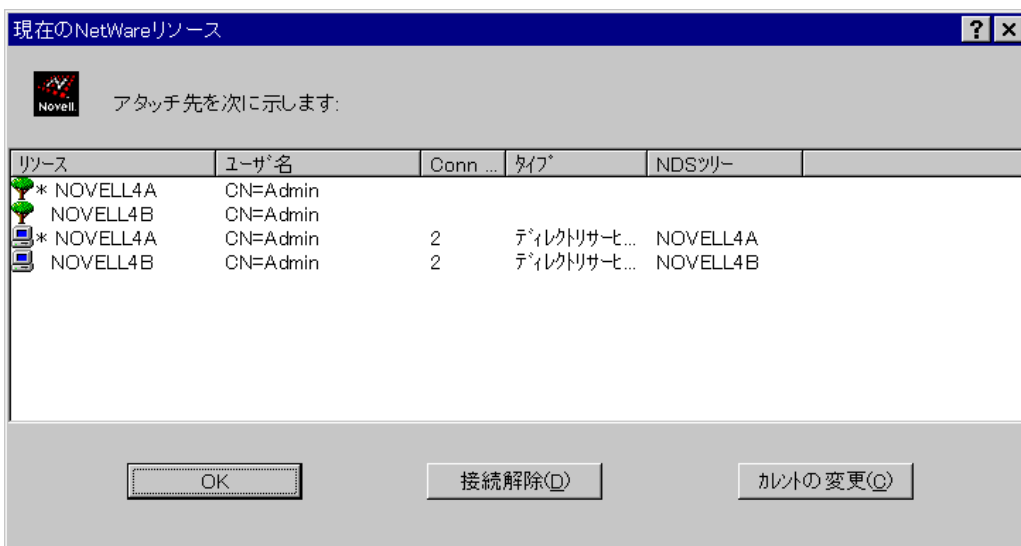
- a. 「ログイン(N)」に「ユーザ名」を入力してください。
- b. 「パスワード(P)」に「ユーザパスワード」を入力後、【OK】をクリックしてください。

4c. NetWare サーバへのアタッチ状況の確認



- a. デスクトップの「ネットワークコンピュータ」をハイライトし右クリックしてください。
- b. 【NetWare 接続(W)】を選択してください。

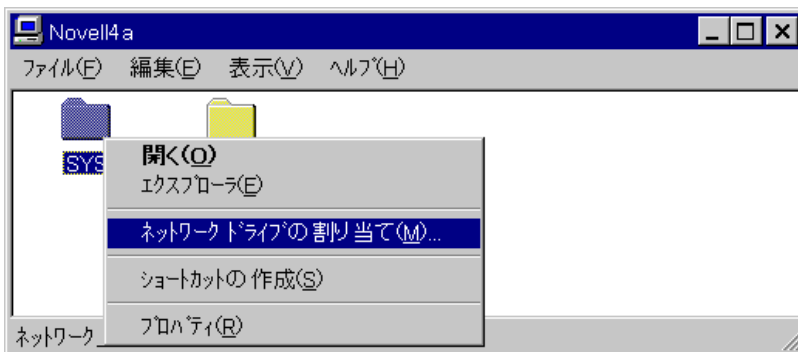
4d. アタッチ先が表示されます（この画面は2つつりに同時にログインした例です）。



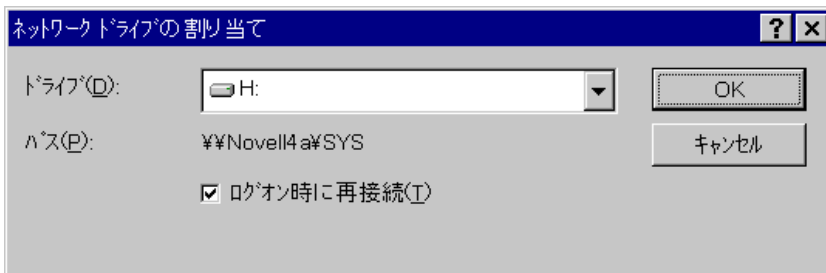
参考: 「NOVELL4A(NDS ツリー)」と「NOVELL4A(サーバ)」にマークされている[*]はカレント NDS ツリー、カレントサーバであることを示してください。通常、Client 32のプロパティまたは GUI ログインで指定したツリーやサーバになります。

5. ドライブマッピング方法

ここでは、サーバ「NOVELL4A」の【SYS】ボリュームをマッピングする手順を通して、ネットワークボリューム（ディレクトリ）の指定方法を説明します。



- 5a. 「エクスプローラ」またはデスクトップの「ネットワークコンピュータ」を実行し、サーバ一覧を表示後、該当サーバをダブルクリックしてボリュームを表示させます。
- 5b. 【SYS】ボリュームのアイコンをハイライトしてください。
- 5c. 右クリック後、「ネットワークドライブの割り当て(M)...」を選択してください。「ネットワークドライブの割り当て」画面が表示されます。



- 5d. 「ドライブ(D):」の右側のボタンを押し、プルダウンメニューからドライブを選択します。

5e. [OK] をクリックしてください。

参考: 以後、Windows 95 の起動時から自動的にドライブマッピングを復元させたい場合は、「ログオン時に再接続(T)」の左側のチェックボックスを有効にしてください。

6. プリンタ設定

6a. デスクトップの「マイコンピュータ」を表示してください。



6b. 「プリンタ」アイコンをダブルクリックしてください。

6c. 「プリンタ」が表示されます。



6d. 「プリンタの追加」アイコンをダブルクリックしてください。「プリンタウィザード」が表示されます。

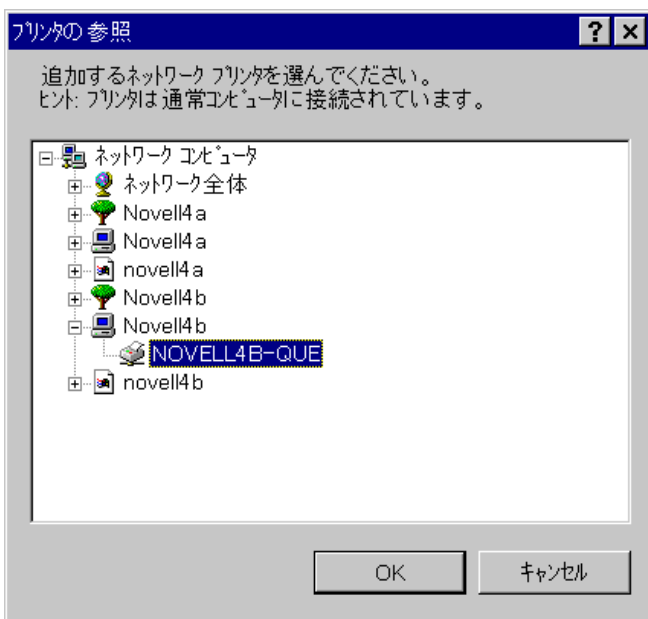


- 6e. 【ネットワークプリンタ(N)】を選択後、【次へ >】をクリックしてください。「プリンタキュー」を参照するメニューが表示されます。

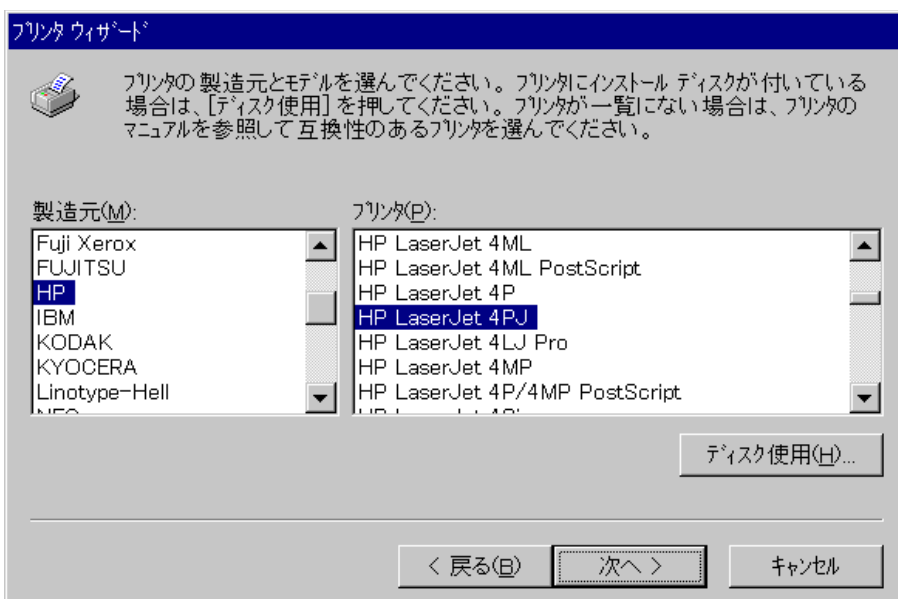


- 6f. 【参照(R)】をクリックしてください。「プリンタの参照」メニューが表示されます。

参考: ネットワークプリンタを使用する場合、NetWare サーバ側でプリントキューやプリンタなどのプリント環境の設定が完了していることが前提です。



6g. 使用するプリントキューを選択してください。プリンタタイプを選択するメニューが表示されます。



ここでは、「HP LaserJet 4PJ」プリンタを使用した例を説明します。

- a. 製造元(M)に【HP】を選択してください。
- b. プリンタ(P)に【HP LaserJet 4PJ】を選択後、【次へ >】をクリックしてください。「プリンタ名」を入力する画面が表示されます。



- c. 表示される「プリンタ名(P)」を確認し、【完了】をクリックしてください。これでプリンタの設定は完了です。

参考： NDS プリントキューについて

NDS のプリントキューは「プリンタの追加」ウィザードのブラウザダイアログボックスのなかには表示されません。NDS プリントキューへのプリント環境設定するためには「ネットワークコンピュータ」か「エクスプローラ」を使用してキューを見つけてください。プリントキューアイコンをダブルクリックして「プリンタ追加」ウィザードを使用することによりそのプリンタを設定することができます。

また、プリンタウィザードの「プリンタ参照」で直接 NDS プリントキューを表示させたい場合は、Microsoft 社から Windows 95 ブラウザダイアログボックスの中で NDS プリントキューを表示するモジュール (SHELLUPD.EXE) が公表されていますので次のインターネットサイトからダウンロードしてください。

<http://www.microsoft.co.jp/win95/modules/module.htm> (1996年3月28日現在)

第3章 サーバ側のロングネームサポート

Client 32 に含まれているロングネームサポート用モジュールを NetWare サーバに追加する手順を説明します。

1. NetWare 4.1J サーバ
 - 1a. クライアントを利用して、サーバに管理者 (Admin) または同等者としてログインして、Client 32 の CD-ROM またはフロッピーディスク (ADMIN1) から以下のファイルをサーバの NetWare パーティションにコピーしてください。
 - ファイル名:
「PM410.NLM」、 「NSWILDFX.NLM」
 - コピー元のパス:
フロッピーディスクからインストールする場合 (「ADMIN1」 フロッピーディスク) :

【フロッピードライブ】:\PATCHES\NW410\

クライアントが IBM PC/AT 互換機で CD-ROM からインストールする場合:

【CD-ROMドライブ】:\DOSV\ADMIN\PATCHES\NW410\

クライアントが NEC PC-9800 シリーズで CD-ROM からインストールする場合:

【CD-ROMドライブ】:\98\ADMIN\PATCHES\NW410\

- コピー先パス:

サーバの「SYS:\SYSTEM\」

参考: PM410.NLM ... Patch Manager for NetWare v4.10(960122)
NSWILDFX.NLM ... 410 patch to fix wild card use with Name Spaces(951007)

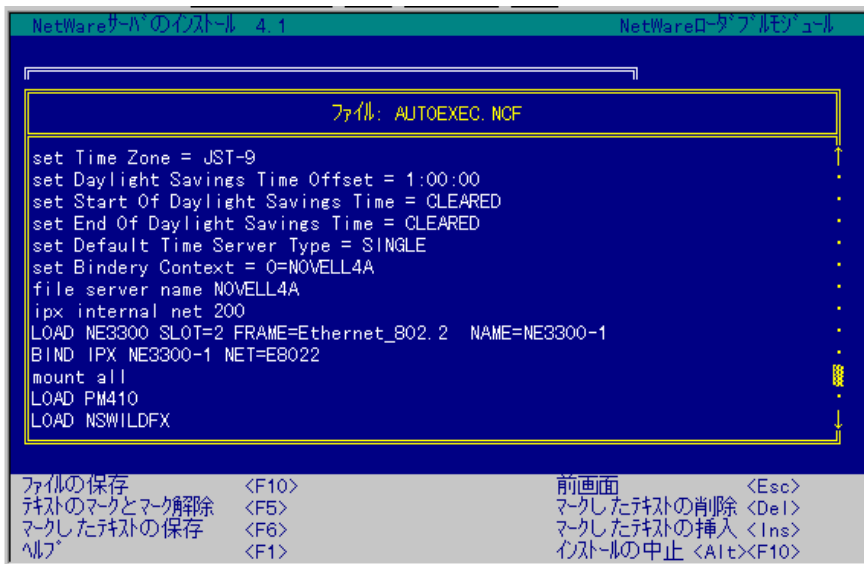
- 1b. ロングネームをサポートするためにサーバコンソールより以下の NLM をロードします。

```
LOAD OS2<ENTER>
LOAD PM410<ENTER>
LOAD NSWILDFX<ENTER>
```

- 1c. ボリュームにネームスペースを追加するためのコマンドを実行してください。

```
ADD NAME SPACE OS2 TO <ボリューム名> <ENTER>
```

- 1d. サーバコンソールから INSTALL.NLM をロードして「AUTOEXEC.NCF」ファイルを編集してください。



以上でサーバの設定は完了です。設定確認のためサーバの再起動をお奨めしてください。

2. NetWare 3.12J サーバ

2a. クライアントを利用して、サーバに管理者(Supervisor)または同等者としてログインして、Client 32のCD-ROMまたはフロッピーディスク(ADMIN1)から以下のファイルをサーバのNetWareパーティションにコピーしてください。

- ファイル名:

「OS2.NAM」、「V_OS2.NLM」、「312OS2NM.TXT」

- コピー元のパス:

フロッピーディスクからインストールする場合(「ADMIN1」フロッピーディスク):

【フロッピードライブ】:\PATCHES\NW312\

クライアントがIBM PC/AT互換機でCD-ROMからインストールする場合:

【CD-ROMドライブ】:\DOSV\ADMIN\PATCHES\NW312\

クライアントがNEC PC-9800シリーズでCD-ROMからインストールする場合:

【CD-ROMドライブ】:\98\ADMIN\PATCHES\NW312\

- コピー先パス:

NetWare 3.12Jサーバの「SYS:\SYSTEM\」とサーバのブートディレクトリ「C:\SERVER.312\ (デフォルト)」にコピーしてください。

2b. サーバコンソール上から次のコマンドを実行してください。

```
LOAD OS2.NAM<ENTER>
ADD NAME SPACE OS2 TO <ボリューム名> <ENTER>
```

第4章 NetWare Application Manager と NetWare Application Launcher

NetWare Application Manager(以下NAM)とはネットワーク上のアプリケーションを管理するユーティリティです。NDSによってアプリケーションソフトウェアを管理することでユーザ、グループ単位で使用できるアプリケーションを制限することやアプリケーションの自動起動などが行えます。またユーザはドライブマッピングやファイルを意識することなく、アプリケーションの実行が可能になります。

NetWare Application Manager (NAM) : 管理者用ユーティリティ

NetWare Application Launcher (NAL) : ユーザ用ユーティリティ

1. アプリケーションの登録ならびにユーザへの割り当て(NAM)

1a. クライアントを利用して、サーバに管理者(Admin)または同等者としてログインして、Client 32のCD-ROMまたはフロッピーディスク(ADMIN1、ADMIN2)から以下のクライアント用NAMモジュールをNetWare 4.1JサーバのNetWareパーティションにコピーしてください。

- コピー元のパス:

フロッピーディスクからインストールする場合(「ADMIN1」および「ADMIN2」フロッピーディスク):

【フロッピードライブ】:\NAM\

クライアントがIBM PC/AT互換機でCD-ROMからインストールする場合:

【CD-ROMドライブ】:\DOSV\ADMIN\NAM\

クライアントが NEC PC-9800 シリーズで CD-ROM からインストールする場合:

【CD-ROMドライブ】:\98\ADMIN\NAM\

- コピー先パス:

上記のディレクトリ内の全てのサブディレクトリとファイルをサーバの「SYS:\PUBLIC\」ディレクトリにコピーしてください。

- 1b. エディタで「C:\WINDOWS\NWADMIN.INI」ファイルをオープンしてください。

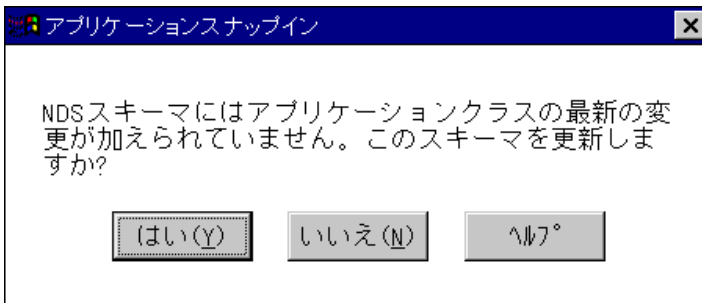
注意: このファイルは、NWAdmin (SYS:PUBLIC\NWADMIN.EXE) を起動することにより自動的に生成されます。設定するクライアント PC 上で以前に一度も NWAdmin を起動していない場合は起動してください。

次の 2 行を追加してください (ドライブ名「Z」は、マッピング環境に合わせて変更してください)。

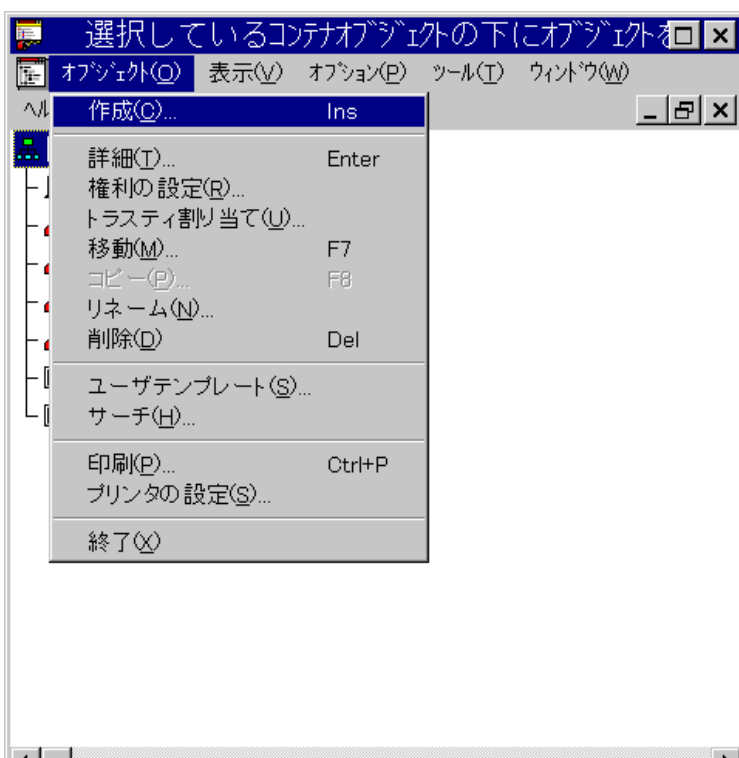
```
[Snapin Object DLLs]  
SNAPIN1 = Z:\PUBLIC\APPSNAP.DLL
```

注意: [Snapin Object DLLs] セクションが既に存在する場合は、「SNAPIN1 = Z:\PUBLIC\APPSNAP.DLL」のみをセクション下に入力してください。また、既に「SNAPIN1」が登録されている場合は、「重複しない名称」を設定してください。(ここでは「SNAPIN1」を設定しましたが任意の名称も使用できます。)

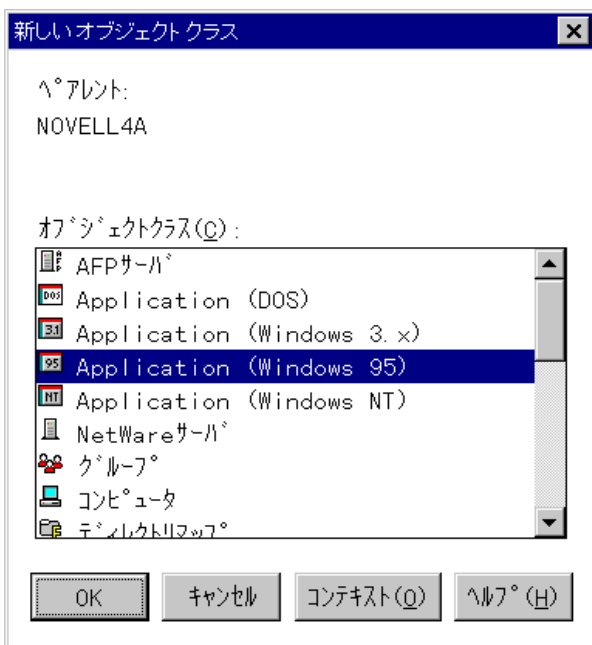
- 1c. 「NWADMIN.EXE」を起動してください。次のメッセージが表示されます。



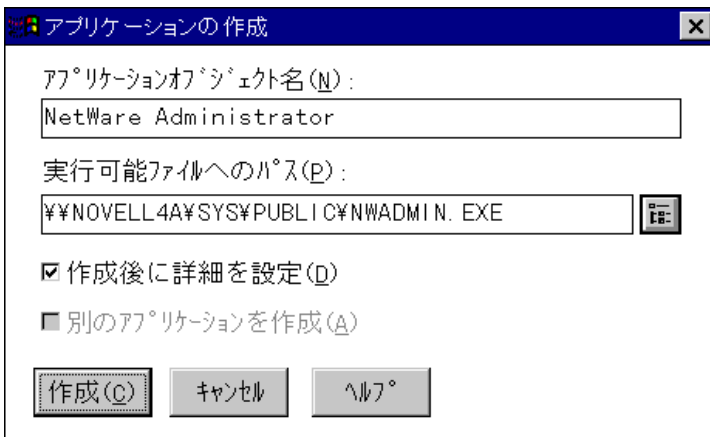
- 1d. NDS スキーマを更新する必要があるため、必ず「はい(Y)」を選択してください。
- 1e. コンテキストにアプリケーションオブジェクトを作成してください。



- 1f. 【オブジェクト (O)】をクリック後、【作成 (C)】を選択してください。新しいオブジェクトクラスが表示されます。



- 1g. 【Application(Windows 95)】を選択後、【OK】をクリックしてください。「アプリケーションの作成」画面が表示されます。



ここでは、「NetWare Administrator(NWADMIN.EXE)」を登録する例を説明します。

- a. アプリケーションオブジェクト名を入力してください。
- b. 「NWADMIN.EXE」ファイルが存在するパスを右側のボタンを押すことによりサーバのボリュームオブジェクトが表示されますのでファイルのパスを検索後、指定してください。
- c. 「作成後に詳細を設定(D)」をクリックして、チェックマークをつけてから、「作成(C)」をクリックしてください。

- 1h. ユーザオブジェクトにアプリケーション割り当てを行います。「アプリケーションオブジェクトの詳細」が表示されます。



- a. 右側の「アプリケーション割り当て」をクリックしてください。
- b. 追加(A)のボタンを押し、「オブジェクトの選択」を表示させます。



- c. アプリケーションを割り当てるユーザを選択後、[OK]を押してください。「アプリケーションオブジェクトの詳細」が表示されます。



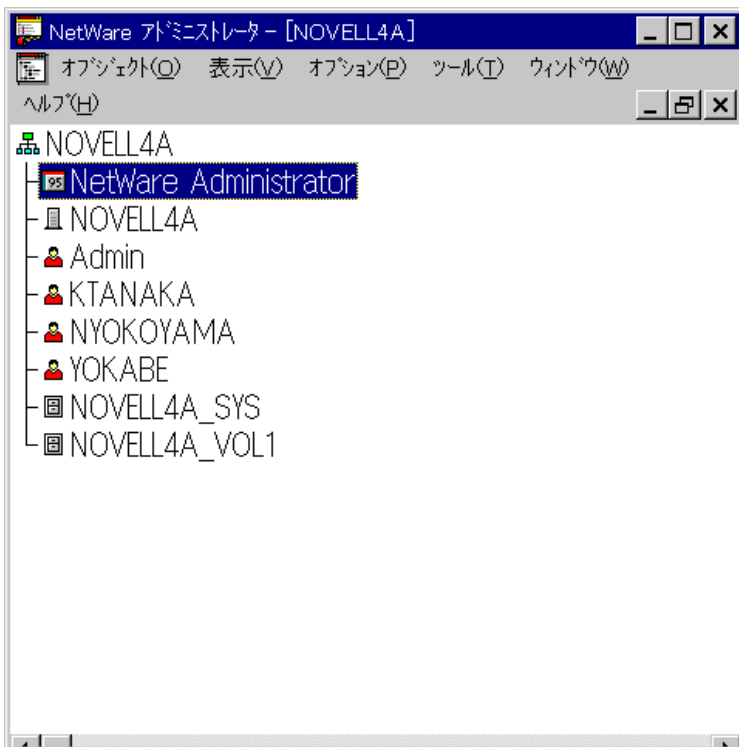
- d. アプリケーション割り当てされたユーザが表示されます。[OK]をクリックしてください。

注意事項

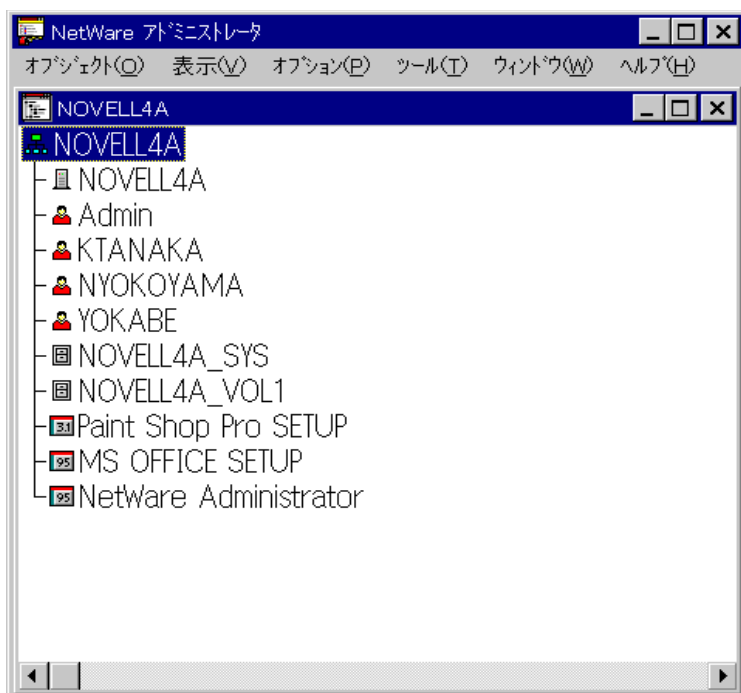
1. アプリケーションを割り当てたユーザにはアプリケーションの実行ファイルが存在するディレクトリへのトラスティ権利を与えてください。もし与えていない場合、NAL 実行時にアプリケーションが使用できない場合があります。

2. NetWare Application Manager は同等トラスティなどの間接的な権利は継承されません。例えば、ユーザ「NYOKOYAMA」がユーザ「ADMIN」と同等の権利を持っていたとしてもユーザ「ADMIN」にのみ割り当てられたアプリケーションはユーザ「NYOKOYAMA」には実行できません。

11. コンテキスト上に「NetWare Administrator」オブジェクトが作成されました。



参考： 同様に「Paint Shop Proのインストーラ」と「MS Office 95のインストーラ」のオブジェクトを生成した例を次に示します。



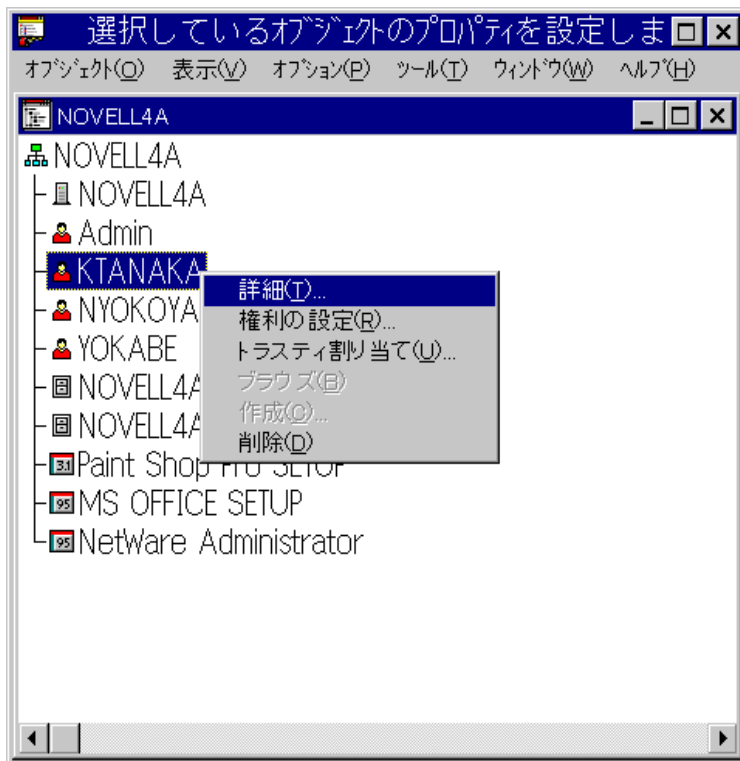
注意: 通常は、サーバの NetWare ボリューム上に存在するアプリケーションのみをオブジェクトとして登録してください。また、登録するアプリケーションがクライアントのローカルドライブ上に存在する場合は、割り当てるユーザの各クライアントのドライブマッピング、ディレクトリ、ファイル構成が同一である必要があります。

2. ユーザ毎にアプリケーションを割り当てる場合の設定 (NAM)

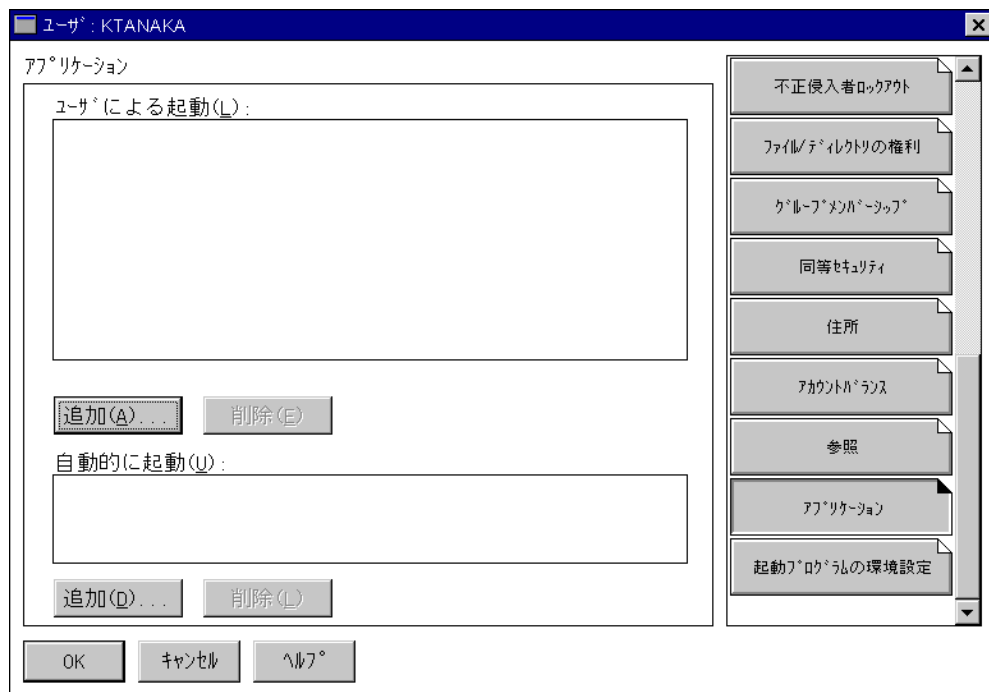
ここでは、ユーザ毎に実行するアプリケーションを割り当てる場合や、アプリケーションの自動実行を設定する場合を説明します。既に「第4章の1.」にてアプリケーション作成時にユーザへの割り当てが完了している場合はこの設定を省略することができます。

2a. アプリケーションオブジェクトへの割り当てをユーザ個別に設定してください。

a. ユーザのオブジェクトが存在するコンテキストを表示してください。



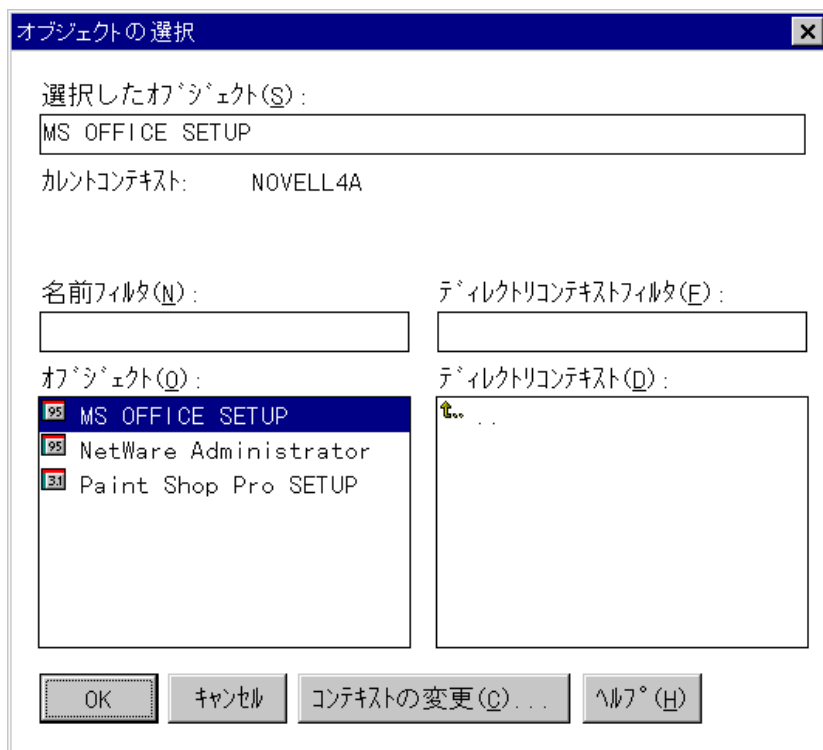
b. 対象のユーザオブジェクトをハイライトし右クリック後、【詳細(T)】を選択してください。ユーザの詳細情報が表示されます。



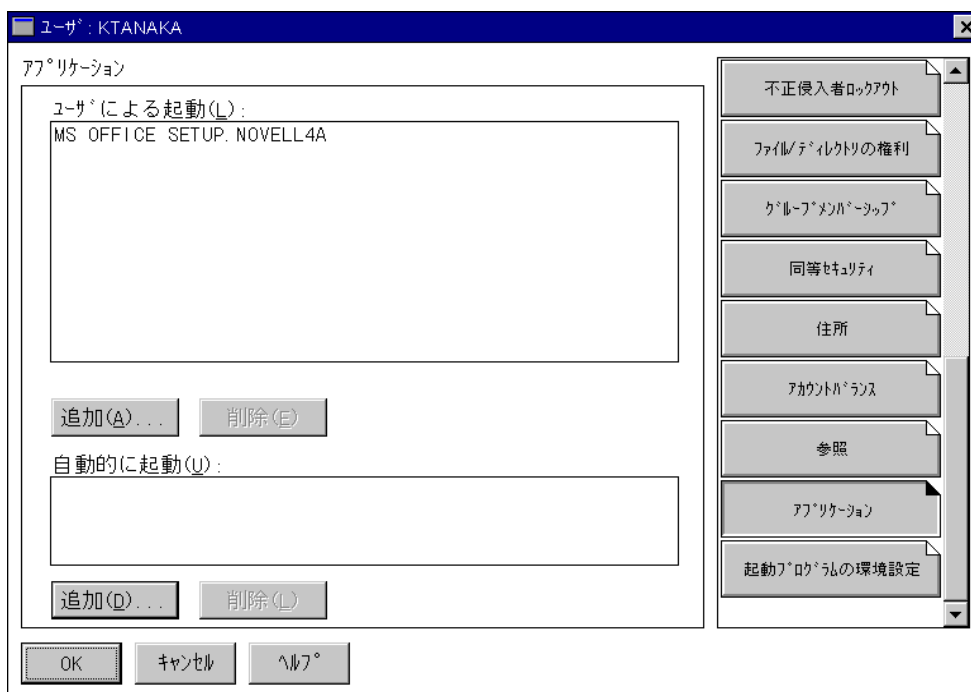
- c. 右側の下から2番目の【アプリケーション】をクリックしてください。
- d. 「ユーザーによる起動(L):」の【追加(A)...】をクリックしてください。

参考事項

1. 「ユーザーによる起動(U):」はユーザーログイン後、いつでも登録されたアプリケーションが使用できるようになります。これは「第4章の1.」で設定されたアプリケーションの割り当てと同一です。「Windows3.1」に例えると「アイコン登録」に似ています。
 2. 「自動的に起動(D)...」はユーザーが「NAL.EXE」を起動すると、登録されたアプリケーションが即座に実行されます。これは「ユーザーによる起動(U)」と違い、このメニューでのみ設定可能です。「Windows3.1」に例えると「スタートアップ登録」に似ています。
- e. オブジェクトの選択画面が表示されます。



- f. 「オブジェクト (O)」よりアプリケーションオブジェクトを選択後、[OK]をクリックしてください。
- g. ユーザの詳細情報「アプリケーション」の登録を確認してください。

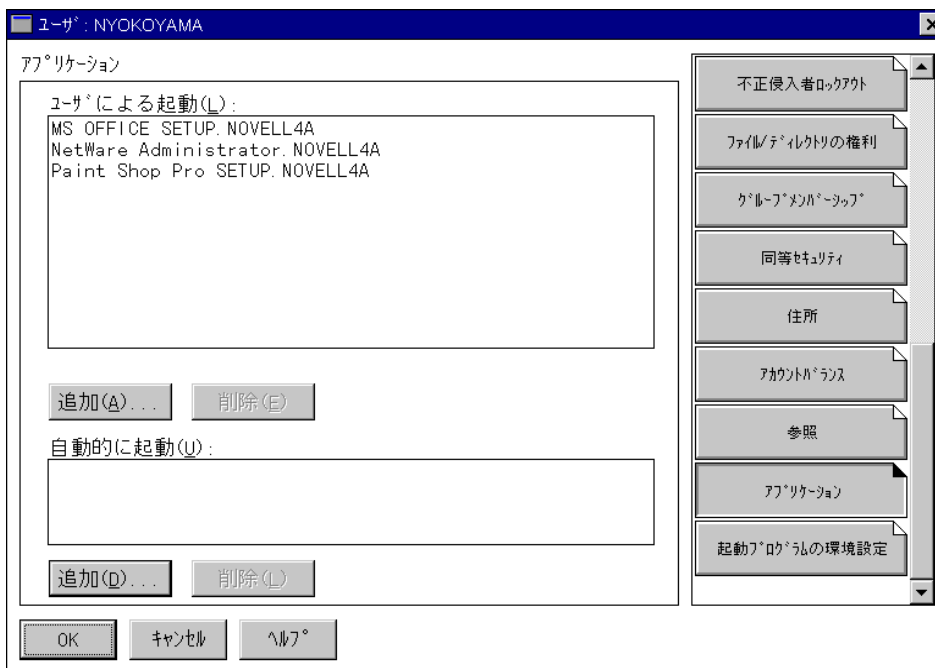


- h. 「ユーザーによる起動(L):」にアプリケーションが登録されたことを確認してください。

注意: アプリケーションを割り当てたユーザにはアプリケーションの実行ファイルが存在するディレクトリのトラスティ権利を与えてください。もし与えていない場合、NAL実行時にアプリケーションが使用できない場合があります。

2b. 前項と同様に各ユーザにアプリケーション割り当てを指定してください。

例 1. 3つのアプリケーションを「ユーザによる起動(L)」に設定した例



この例ではユーザ「NYOKOYAMA」に「NetWare Administrator」、「MS OFFICE SETUP」と「Paint Shop Pro SETUP」を「ユーザによる起動(L):」として与えています。

例 2. アプリケーションを「自動的に起動(U)」に設定した例



この例では、ユーザ「YOKABE」に「NetWare Administrator」を「自動的に起動(U):」として与えています。

注意: NetWare Application Managerは同等トラスティなどの間接的な権利は継承されません。例えば、ユーザ「NYOKOYAMA」がユーザ「ADMIN」と同等セキュリティを持っていたとしてもユーザ「ADMIN」にのみ割り当てられたアプリケーションはユーザ「NYOKOYAMA」には実行できません。

3. アプリケーションの実行(NAL)

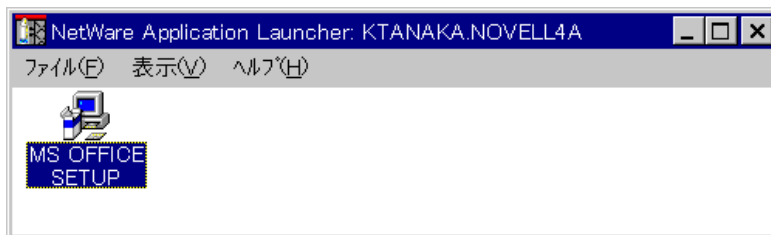
- 3a. 「フォルダの選択」画面を表示して「NAL.EXE」を Window95 のスタートアップフォルダにショートカット登録してください。



- a. 「次へ」をクリックしてください。
- b. 「Z:\PUBLIC\NAL.EXE」を指定して登録してください(ここでは、「SYS:PUBLIC\」が Zドライブにマッピングされてと仮定しています)。

- 3b. Windows を再起動し、アプリケーション割り当てを設定したユーザでログインしてください。「NetWare Applications Launcher.(ユーザ名).(コンテキスト)」メニューが表示されます。

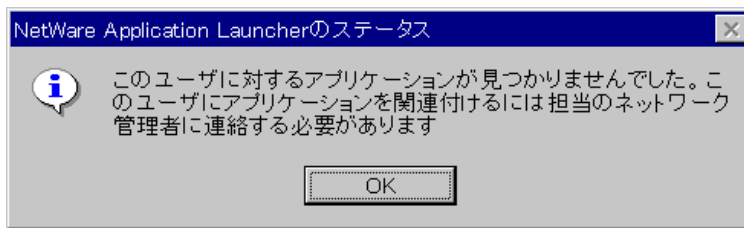
例 1. 1つのアプリケーションにのみアプリケーション割り当てがあるユーザの例



例 2. 3つのアプリケーションにアプリケーション割り当てがあるユーザの場合



アプリケーションに対してアプリケーション割り当てが全くない場合は下記のメッセージが表示されます。



参考： 「自動的に起動 (U)」に登録されている場合、ログイン後、アプリケーションが自動的に起動されます。

3c. アイコンをダブルクリックしてアプリケーションを起動してください。

以上